

は かんさつ シルクを吐くカイコの観察

むりょうはいふちゅう
～無料配布中～

信州大学繊維学部

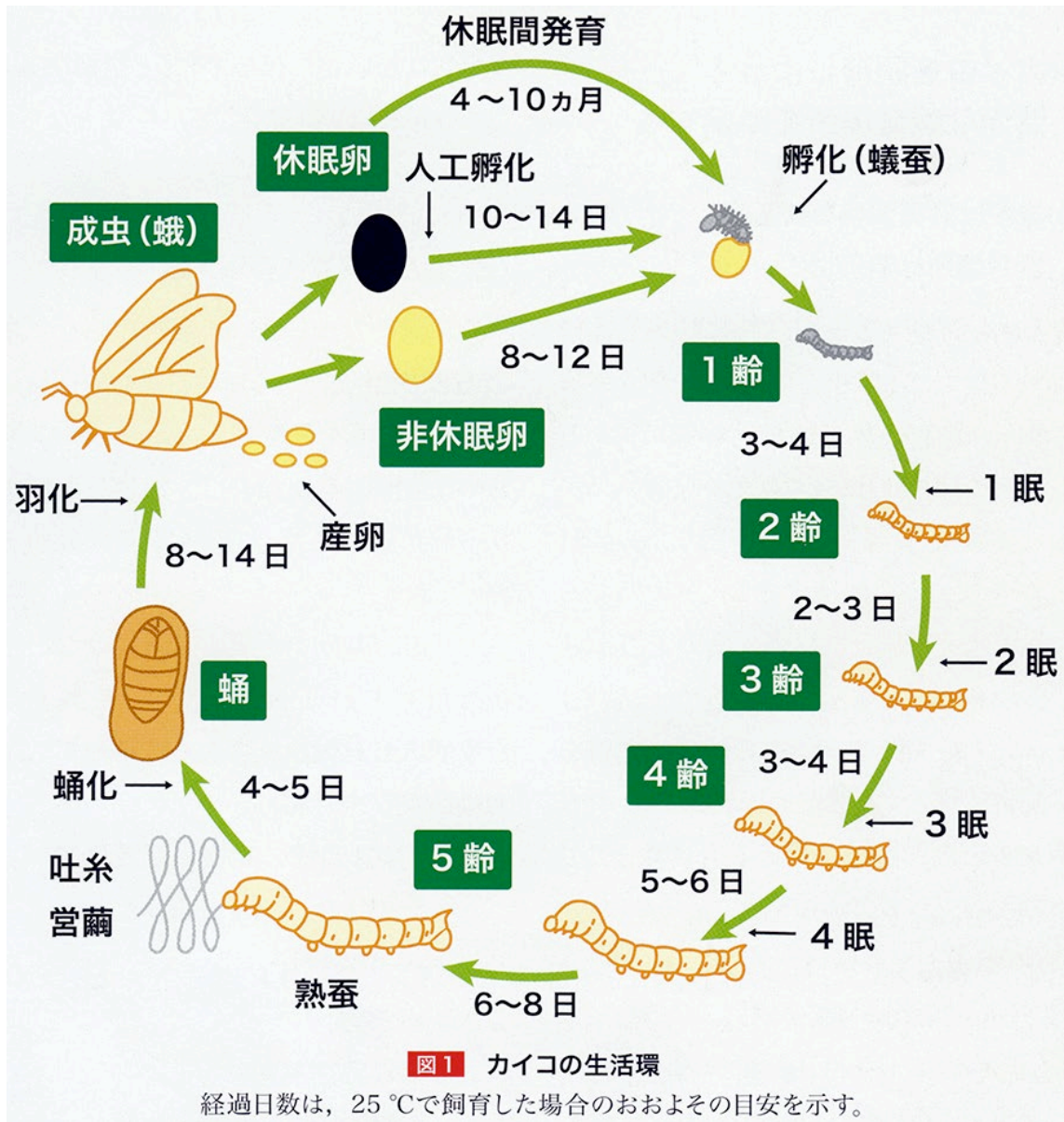
塩見 邦博

カイコってどんな虫でしょう？ 白いイモ虫^{しろ むし}，くねくね動く^{うご} 幼虫^{ようちゅう}，なんだかよく分^わからないけれど，ちょっと苦手^{にがて}・・・などなど。実は私^{じつ わたし}たちに身近^{みぢか}でありながら，知^しっているようで意外^{いがい}と知^しらない，カイコはそんな生き物^{いきもの}の一つかもしれません。カイコは人^{ひと}がシルクを^え得^えるために長い時間^{なが じかん}をかけて飼^{かい}い慣^ならしてきた昆虫^{こんちゅう}です。人^{ひと}の都合^{つごう}にあわせて改良^{かいりょう}された生き物^{いきもの}なので，非常^{ひじょう}に飼育^{しいく}しやすいという特性^{とくせい}があり，実際^{じっさい}に私^{わたし}たちの研究室^{けんきゅうしつ}では一年^{いちねん}を通^{つう}じて，いつでも数千頭^{すうせんとう}が飼育^{しいく}されています。カイコは毒^{どく}がなく，噛^かみつくこともなければ，飛^とぶこともできません。そして，野外^{やがい}の昆虫^{こんちゅう}と違って，幼虫^{ちが ようちゅう}はあまり動き回^{うご まわ}ることがありません。カイコは完全変態昆虫^{かんぜんへんたいこんちゅう}と言^いわれ，その暮^くらしには卵^{たまご}，幼虫^{ようちゅう}，蛹^{さなぎ}，そして成虫^{せいちゅう}（蛾^が）の時期^{じき}があります。幼虫^{ようちゅう}は飼育容器^{しいくようき}の中^{なか}で行儀^{ぎようぎ}よくエサを食^たべ，上手^{うまく}くいけば発育^{はついく}がよく揃^{そろ}い，一斉^{いっせい}に脱皮^{だっぴ}をして成長^{せいちょう}し，あし並^なみよく蛹^{さなぎ}や成虫^{せいちゅう}になります。図^ずにあるようにおよそ1ヶ月^{げつていど}程度^{いっしょう}でその一生^おを終^{つぎ}え次の世代^{せだい}にバ

トタッチします。今回の科学の祭典では、図中にあるシルクを吐く「熟蚕」

」を皆様に配布します。熟蚕には餌である桑葉をもう与える必要はありません。

家に持ち帰って糸を吐く様子、蛹や成虫に変態する様子を



「カイコの実験単一カイコで生命科学をまるごと理解！ー (NTS 社)」より

観察してみてもいいでしょうか？